

技術士 1 次試験に合格して



佐藤 泰弘

(さとう やすひろ)

勤務先

農林水産省 林野庁 北海道森林管理局
空知森林管理署北空知支署

〒074-0414 雨竜郡幌加内町字清月
TEL 0165-35-2221 FAX 0165-35-2223
E-mail yasuhiko_satou610@maff.go.jp

■ 専門：森林部門

1. 自己紹介

私は昭和 58 年に当時の農林水産省 林野庁 北見営林支局に採用されました。当時、北見営林支局はオホーツク管内の国有林の管理、経営を行っていました。

採用当初は土木(治山、林道)の専門家として進むものと思っていましたが、林業を全く知らなかったことから、初めは国有林の境界管理、森林の調査、立木の販売、森林の造成、請負事業の監督など、直接、森林を管理、経営している担当区事務所へ配属されることとなり、以来、森林計画、素材生産、素材販売など土木以外の森林、林業に関する業務に長く携わってきています。この 3 年間についても、林野庁が進めている素材生産の作業効率向上に向けた取組みに携わってきていました。

2. 受験に至るまで

技術士というものを 10 年ほど前に知り、過去問題を一度眺めたことがありました。その時は、問題の難しさと国有林の先輩たちは、技術士ではなく林業技士を取得している方が多かったこともあり受験までには至りませんでした。

しかしその後、ある先輩 OB から技術士取得を強く勧められたことを契機として、自分がこれまで培ってきた森林・林業に関する技術がどの程度なのかを確認したく、また、将来、何かの役に立つことがあるかもしれないという期待から受験することとしました。

3. 受験体験

平成 28 年、受験を決めてから試験まで半年しかなかったことから、早速基礎科目と適性科目の問題集を購入し、公益社団法人日本技術士会の HP で公開されている過去問題をダウンロードして勉強に取

り掛かりました。

勉強を進めていくと、これまでの業務経験もあったためか、適性科目と専門科目については合格点を取ることができるまで自信をつけることができましたが、基礎科目については難儀しました。

基礎科目の範囲が広すぎました。特に化学には苦しみました。化学は中学生の時に勉強してこのかた全くでしたし、年齢的にも新しいことを受け入れる気力、体力を維持するのに苦戦しました。

そんなこともあり、適性科目、専門科目に自信があったこと、基礎科目も半分解ければ合格であり、化学に関するものは 1、2 問しか出ないこと、運を味方にすれば何とかなんと楽観視して試験に臨みました。結果は基礎科目が合格点まで 2 点足りずに不合格。技術士の高尚さを実感しました。

基礎科目にもう少し力を入れていればあと 2 問何とかあったのでは、という思いが募りましたが後の祭りです。意を決して、翌年も受験することを決め、29 年度再挑戦で何とか一次試験を突破することができました。

4. 今後に向けて

一次試験合格まで 2 年を要したことや年齢的、体力的にも持続するのが難しくなっていますので、何としても早くに取りたいと考えています。

今年、二次試験を受験することとしましたが、二次試験には筆記試験と口頭試験があり、口頭試験に進むためには筆記試験に合格しなければなりません。

まずは、筆記試験合格に向けて過去問題を集中的に取組んでいきたいと思っています。

技術士会の先輩諸氏におかれましては、口頭試験に向けたサポートをお願いしたいと考えています。